

徒然想

今年は、昨年の猛暑の影響で花粉飛散量が大幅に増えるとか。私もインフルエンザ対策で購入したマスクを、そのまま花粉対策に利用している次第です。さて、マスクと言えば、タイガーマスクがあちこちに登場して話題になりました。心温まる話題で、とても良い事だと思います。一部評論家の間では冷めた分析をしている側面もあるようですが、もしランドセルを受け取った子供が本当に喜んでいいるなら、その子はきっとポジティブなエネルギーの連鎖を信じていけるのではないのでしょうか。それが一番大事な事だと感じます。冷めた目で見なければいけないのは、ただの野次馬的なマスコミ報道に対して。どうか、本物のあかりを灯す行動がそんなものにかき消されることなく続いていきますように。

TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

<出展のご案内>

東京都庁「長崎市文化遺産パネル展」 2011/2/22～2/25

横浜建築祭「横浜近代建築展」 2011/2/25～2/27

当社では2月22日(火)から27日(日)かけて、下記2つのイベントに出展致します。

東京都庁「長崎市文化遺産パネル展」 2011/2/22～2/25

2011年2月22日(火)～25日(金)、東京都庁第一本庁舎45階南展望室において「長崎市文化遺産パネル展」が開催されます。古くから海外への玄関口として栄え、今なお国際色豊かな文化を色濃く残している長崎市では、世界遺産暫定リストに記載されている「九州・山口の近代化産業遺産群」と「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」について、世界遺産本登録を目指した取り組みが進められています。

今回のパネル展では、2つの遺産群について長崎市の文化遺産を中心とした展示が行われます。「九州・山口の近代化産業遺産群」コーナーでは、西洋の技術を積極的に取り入れ、アジアで先駆けて近代化を達成したことを示す構成資産の全体像について説明をした上で、炭鉱閉山後無人の島となった「軍艦島」について過去と現在を対比した展示が行われます。一方、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」コーナーでは、世界に類を見ない長崎のキリスト教の歴史・布教・繁栄・弾圧・潜伏そして復活に至るまでを紹介しながら、国宝の大浦天主堂をはじめ長崎市内の教会写真パネルが展示されます。

当社は、これまで、「軍艦島」および「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」に関して、3Dレーザ計測や全方位カメラ撮影等による3次元記録を行ってきました。軍艦島で行った全方位カメラ撮影画像は、軍艦島内部を360



全方位カメラ撮影画像(ipad)

度パノラマ歩行撮影を行ったもので、歩行者の目線で前後左右360度任意に視線を巡らせながら、軍艦島を回遊するような画像を撮影できるシステムです。まさに歩きながら首を振って見て回っているような体感が得られます。

今回のパネル展では、これらのデータについて動画やipadによる展示を予定しています。3次元計測データ、全方位カメラ撮影画像をipadにより自由に操作可能です。

長崎の文化遺産について知っていただく絶好の機会ですので、ぜひ、会場に足をお運びください。



軍艦島 3D レーザ計測データ

横浜建築祭「横浜近代建築展」 2011/2/25～2/27

2011年2月24日(木)～3月1日(火)、横浜市の各会場において、「(建築WEEK2011)横浜建築祭(主催:、(社)日本建築家協会 JIA 神奈川)」が開催されます。今年は、子どもたちや学生・市民、企業、行政、建築団体の皆さまと建築家がさまざまなイベントを通して“交流”する「cross×cross」をテーマとして開催されます。

全部で13あるイベントの中で、当社は「横浜近代建築展」(2011年2月25日(金)～27日(日)、BankART Studio NYK 1階)に出展します。

横浜市の関内地区では、1984年当時、95棟あった明治、大正、昭和初期に建てられた建造物が、現在(2010年12月時点)、その半分以上が失われ、43棟にまで減少しています。うち1棟はすでに今年解体される事が決まっています。

この状況から、今後どのようにしていけば良いか、また、横浜の街らしさがどこにあるのかを考えるよい機会となるよう、今回の近代建築展が開催されることとなりました。



松坂屋3次元レーザ取得データ



外壁装飾テラコッタ 3次元データ

近代建築展では、残された近代建築の写真パネル展示と、近代建築の保存再生の取り組み事例のご紹介として、2010年に解体された横浜松坂屋本店*の外壁装飾テラコッタ等の展示が行われます。横浜松坂屋本店展示では、写真や資料展示のほか、実際にさわってデザインを体験できるテラコッタの原寸レプリカ展示や、3次元レーザ実測による建物およびテラコッタの3次元CGデータ展示が行われる予定です。

当社は、これらの展示のうち、3次元CGデータ展示と計測実演を行います。今は無き、横浜松坂屋本店のバーチャルな世界を体験してはいかがでしょうか。

※横浜松坂屋本館: 1921(大正10)年に建築され、その後、建物は増築を重ね外壁に見られるアールデコ調の装飾は1934(昭和9)年の際に建築家・鈴木禎治によって設計。解体に際し、建物の保存再生のため、外壁装飾テラコッタの記録保存(原寸・型取り保存((株)植野石膏模型製作所)、3次元レーザ測量による外壁全面測量・細部意匠測量保存((株)計測リサーチコンサルタント))が行われた。



横浜建築祭チラシ

★ 横浜建築祭ウェブサイト: http://www.jia-kanto.org/kanagawa/event_week/2011/index.html

■ イベント概要

	長崎市文化遺産パネル展	横浜建築祭「横浜近代建築展」
開催期間	平成23年2月22日(火)～25日(金) 9:30～17:30 (22日は13時から、25日は15時まで)	平成23年2月25日(金)～27日(日)
開催場所	東京都庁第一本庁舎 45階南展望室	BankART Studio NYK 1階 (横浜市中区海岸通3丁目9 TEL:045-663-4677)
入場料	無料	無料
当社展示内容	「軍艦島」3Dレーザ計測データ (VZ-400) 「軍艦島」全方位パノラマ撮影画像 (Ladybug) ・3D動画アニメ ・ipad を用いた自在操作可能	・横浜松坂屋本店 3次元レーザ実測による3次元CGデータ展示 ・ハンデイスキャナを用いた計測実演(27日(日)のみ 午前2回 午後3回)

★ウェブ版はこちら: <http://www.krcnet.co.jp/topics/topics49.html>

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。